

学校保健

平成13年6月1日

No. 237

(財)日本学校保健会ホームページアドレス
<http://www.hokenkai.or.jp/>

JAPANESE SOCIETY
OF
SCHOOL HEALTH

(財)日本学校保健会

専務理事就任に際して

(財)日本学校保健会 専務理事 内 藤 昭 三



平成13年度から本会の専務理事を引き受けることになりました。会員各位のご叱正を戴きながら会務に当たる所存であります。あらためてご支援とご鞭撻を心からお願い申し上げます。

最近の社会環境の変革は著しく、その一つに少子化があり、わが国の政治、経済を含め、わが国全体の命運に関わる問題ではありますが、学校周囲への影響も大きく、学校保健にとっても、直接・間接的にその影響は多く、十分な配慮がなければ保健活動の成果を期待することは難しいことを知らねばなりません。その他、心の健康問題への対策や学校・家庭・地域の三者の連携の必要性などがあって、その多くは古くて新しい問題であり、解決策の進歩はあっても、いまなお取り組むべき重要課題が山積しています。日本学校保健会の役割を思えば、身がひきしまる感を抱くところであります。

これからの学校保健は教育改革もあって健康教育を主体とした健康管理が望まれますが、学校に求められる役割と同時に、個人の責務にも触れ、学校教育の場においては少なくとも、個々の健康への知識と意欲を達成させ、心身ともに健康で、充実した生涯を獲得できるような指導が必要と考えられます。学校保健に対する評価は前段階にある乳幼児保健から成人保健につなげる生涯保健への具体的方策とその成果により左右されると思います。

また、日本学校保健会の重要課題に財政基盤の確立があります。学校保健の推進に必要な事業を遂行するために安定した収支と健全な運営が求められています。そのため近い将来、逼迫した状況に至ることのないよう、自己財源を確保することが緊急の課題であり、現在据え置かれた本会への拠出金を適正な額に改定する必要に迫られています。加盟団体及び関係各位のご理解を賜りたいと存じます。

目 次

専務理事就任に際して	…1
平成13～14年度	
(財)日本学校保健会の役員	…2
平成13年度事業日程	…3
特集 学校生活管理指導表の改訂	…4
Q&A ―学校保健活性化のための―	…8
平成13年度「学校保健用品・図書等推薦一覧」	…9
虎の門	…9
財団法人日本学校保健会編	
図書一覧	…10
財団法人日本学校保健会	
しおり一覧	…11

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。FAXでお寄せください。

乞御回覧

校 長 教 頭 保健主事 養護教諭

P
T
A

会 長 副会長

平成13～14年度(財)日本学校保健会の役員

5月28日の評議員会において、平成13～14年度の(財)日本学校保健会の役員が下記の通り承認され決定いたしました。

顧 問

渋谷 敬 三	元文部省体育局長
柳 川 覚 治	元文部省体育局長
関 口 龍 雄	元副会長
山 中 正 一	元副会長
重 田 精 一	元副会長
松 尾 学	元副会長
本 吉 鼎 三	元副会長

会 長

矢 野 亨	前会長
-------	-----

副会長

山 田 統 正	日本医師会常任理事
若 林 明	大阪府医師会副会長
西連寺 愛 憲	日本学校歯科医会会長
澤 村 良 二	日本学校薬剤師会会長

専務理事

内 藤 昭 三	前日本学校保健会常務理事
---------	--------------

理 事 ◎印…常務理事

(加盟団体より)

飯 塚 弘 志	北海道学校保健会会長
師 研 也	宮城県学校保健会会長
◎佐々木 健 雄	東京都学校保健会会長
富 永 孝	神奈川県医師会理事
結 城 瑛	新潟県学校保健会会長
宇 野 義 知	富山県学校保健会会長
岩 砂 和 雄	岐阜県学校保健会会長
◎橋 本 章 男	兵庫県学校保健会会長
有 山 雄 基	奈良県学校保健会会長
小 谷 秀 成	岡山県学校保健会会長
村 上 郁 夫	愛媛県学校保健会会長

関 原 敬次郎	福岡県学校保健会会長
加 藤 隆 教	千葉市学校保健会副会長
碓 井 静 照	広島市学校保健会会長

(職域より)

◎江 口 篤 壽	学識経験者
◎高 石 昌 弘	学識経験者
佐 野 七 郎	学校医 (眼科)
神 田 敬	学校医 (耳鼻咽喉科)
◎櫻 井 善 忠	学校歯科医
◎杉 下 順一郎	学校薬剤師
朽 葉 元 生	小学校長
◎藤 崎 武 利	中学校長
千 田 捷 熙	高等学校長
◎鈴 木 守 雄	保健主事
◎阿 部 伊 織	養護教諭
今 井 佐知子	PTA協議会
鈴 木 允 子	栄養士協議会
藤 森 宗 徳	学校保健研究大会当年度開催県 会長

監 事

横 山 元 禎	学校医
森 本 基	学校歯科医
佐 藤 晴 壽	学校薬剤師

訃 報

本会顧問 加藤増夫先生には、平成13年5月17日(木)逝去されました。先生は、永年本会の理事・副会長・顧問を歴任され、絶大なご尽力をたまわりました。ここに先生のご功績をしのび謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成 13 年度事業日程

(財)日本学校保健会

月	会 議 予 定	事 業 予 定	学校保健センター事業委員会
4	総務企画担当・財務担当理事会 4月23日(月)13:00 本会 監事会 4月26日(木)14:00 本会 理事会 4月27日(金)14:00 本会 理事会・評議員会 5月28日(月) 日本体育・学校健康センター	全国学校保健会事務担当者連絡会 4月20日(金)13:30 日本体育・学校健康センター	<企画運営委員会> 1 普及指導事業 普及指導委員会 海外委員会 2 調査研究事業 保健学習推進委員会 喫煙・飲酒・薬物乱用防止指導研究委員会 薬物乱用防止教育教材作成小委員会 薬物乱用防止教育ホームページ作成小委員会 薬物乱用防止広報啓発活動推進小委員会 薬物乱用防止教育広報啓発活動推進委員会 保健管理調査研究委員会 健康診断調査研究委員会 心臓・腎臓管理指導小委員会 視力矯正指導小委員会(新規) 保健主事資質向上委員会 学校環境衛生推進委員会 内分泌かく乱情報提供小委員会 新興・再興感染症対策研究委員会 3 健康増進事業 養護教諭研修事業 全国養護教諭研究大会 7月26日(木)・27日(金)群馬県 保健室経営検討委員会(新規) 学校保健研修事業……16県 児童生徒等歯・口の健康づくり推進事業 児童生徒等歯・口の健康づくり推進 委員会(新規) 委託県……9県 エイズ教育調査研究事業 エイズ教育調査研究委員会 エイズ教育情報ネットワーク小委員会 児童生徒の健康状態サーベイランス事業 児童生徒の健康状態サーベイランス委員会 降灰地域等学校保健事業 委託県……未定 4 その他 シンポジウム 平成13年度薬物乱用防止教育 シンポジウム 6月29日(金)イイノホール 平成13年度世界エイズデーシンポジウム 11月30日(金)オリンピック青少年センター
5		第52回十三大都市学校保健協議会 5月13日(日)横浜市	
7		第23回近畿学校保健連絡協議会 7月12日(木)神戸市 平成13年度全国養護教諭研究大会 7月26日(木)27日(金)群馬県	
8		第47回中国地区学校保健協議大会 8月2日(木)3日(金)鳥取県 第36回東北学校保健大会 8月7日(火)8日(水)岩手県 第1回九州地区健康教育研究大会 8月6日(月)7日(火)佐賀県 第44回全国学校保健主事協議会 8月9日(木)10日(金)東京都 第14回四国学校保健研究大会 8月21日(火)22日(水)愛媛県 第52回関東甲信越静学校保健大会 8月23日(木)24日(金)埼玉県	
9		第50回北海道学校保健大会札幌大会 9月30日(日)札幌市 平成13年度学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会 9月20日(木)21日(金)甲府市	
10		第22回東海ブロック学校保健研究大会 10月12日(金)岐阜県 第44回北陸三県学校保健研究協議会 10月18日(木)19日(金)富山県	
11		第51回全国学校保健研究大会 11月8日(木)9日(金)千葉県 平成13年度全国学校保健協議大会 11月9日(金)千葉県 第65回全国学校歯科保健研究大会 11月15日(木)16日(金)大阪府	
12		第32回関東甲信越静学校 心臓病予防研究会 12月8日(土)静岡県	
2	企画運営委員会・委員長会議	平成13年度学校保健講習会 平成14年2月16日(土) 日本医師会 全国養護教諭連絡協議会 平成14年2月21日(木) 国際フォーラム 平成13年度学校保健センター 事業報告会 平成14年2月22日(金) オリンピックセンター	
3	総務企画担当・財務担当理事会 監事会 理事会 評議員会		海外情報ニュース(42・43号)

会報についてお願い

本会では、この会報が学校保健の現場で少しでも、お役に立てたらと考えています。それには、読みやすく、活用できる内容でなければなりません。魅力ある会報の編集をするため、忌憚のないご意見あるいは内容に関するご質問を、FAXでお寄せください。号を追って会報に掲載させていただく予定です。(FAX 03-3592-3898)

特 集

学校生活管理指導表の改訂

心臓・腎臓等管理指導小委員会 委員長 本 田 恵

文部科学省（当時の文部省）では、平成10年12月に小学校および中学校、同11年3月には高等学校の学習指導要領を改訂し、それぞれ平成14年度および15年度から新しい教育課程の基準を実施することとしております。新しい学習指導要領では、教科体育の科目とその取り組み方に従来と異なるところがあり、従って、学校での運動に関する生活指導も新しい指導要領に添うよう改訂する必要があります。

そのため、日本学校保健会に「心臓・腎臓等管理指導小委員会」を設置し、現行の「管理指導表」の見直し・改訂に取り組み、このたび試案として「学校生活管理指導表」を発表するものであります。

<学習指導要領の改訂>

このたびの指導要領の改訂に伴って、教科体育の内容も変更されました。改訂のポイントは概略以下のようなものです。

- 1) 運動の取上げ方の弾力化
- 2) 「体力を高める運動」を発達段階に応じて重点化
- 3) 心と体を一体としてとらえる観点の重視
「体ほぐしの運動」の新設
「体操」から「体づくり運動」へ
- 4) 運動の学び方の重視
- 5) 自然とのかかわりの深い活動の重視
「水辺（すいへん）活動」を加える

これを受けて以下のような新たな運動種目が示されています。

体ほぐしの運動、リズムダンス（中・高生では現代的なリズムのダンス）、水辺運動、そして、小学校ではソフトボール又はソフトバレーボール。

このような教科体育の種目の一部変更とその取り組み方の改訂にマッチした生活指導要領を作成する必要が生じました。加えて、旧（現行）指導表は、学校現場での適用に不明確な点が多いとのご批判を受けておりましたので、今回の改訂では現場での使用が適確になるよう配慮することに致しました。

<旧指導表の問題点>

旧指導表は小学校1年生から高校3年生までが1枚に纏められており、管理の単純化と均一性の保持に

貢献してきたとはいえ、対象年齢があまりに広く、教科体育で取り上げられる運動種目の種類とその取り組み方も年齢による差が大きく、運動強度別の運動分類は詳細性を欠くことになります。これが、旧指導表の現場での適用の不正確性と困難さの最大の要因といえます。

以下、旧指導表の問題点を列挙してみます。

- 1) 運動強度が主として運動の種目によって分類されている
例えば、バスケットボールやサッカーは一括して強い運動と規定されており、取り組み方による運動強度が無視されていて、CやD区分の児童・生徒はこれらの運動には全く参加できない。
- 2) 運動種目によっては、2つないし3つの運動強度に跨っている
取り組み方に差が大きいと考えられる模倣運動、表現運動やダンスなどは「軽い」から「強い」までに跨っており、テニス、バドミントンなどは「中等度」から「強い」運動とされている。現場での参加可否の決定が難しい。
- 3) 指導区分が7～8段階と複雑である
「心臓病管理指導表」ではCとEに可・禁があり7段階、「腎臓病管理指導表」は、B、C、Dに可・禁があって8段階に分割されている。運動内容の強度分類があいまいな割に管理区分分類が複雑すぎる。
- 4) 「心臓病」用と「腎臓病」用とに不一致がある
医療区分1、2、3の内容が心臓と腎臓で異なっ

ている。また、Cの可・禁の内容にも両疾患に差があり、腎臓用にはEに可・禁の区分がない、など。

5) 運動強度分類の定義が示されていない

運動強度分類の定義が不明確であるため、学校行事やその他の活動を各々取上げて指導区分別に参加の可否を決定しなくてはならない。

以上のような旧指導表の問題点を克服することも今回の改訂の目的の一つです。

＜新しい指導表の改訂ポイント＞

これまでお話した理由から、学校生活管理指導表を改訂しました。

改訂にあたっては、高校体育の専門家（梅嶋 功至先生）、中学校の体育授業経験者である中学校長（上原 健夫先生）、小学校の児童生活管理者（柏光佐子先生）、学校医の代表（菊池 敏夫先生）、腎疾患専門医（村上 睦美、飯高 喜久雄両先生）、糖尿病専門医（松浦 信夫先生）、循環器専門医（原田 研介先生）、運動生理学者（馬場 礼三先生）、学校検診専門担当責任者（山内 邦昭先生）の皆様方の頻回に亘る熱心なご討論を得、加えて、文部科学省の専門家（池田 延行、森光 敬子両先生）のご指導をいただきました。

なお、指導表の内容の一部が冊子掲載時と一部変更になっていますので、ここに最新の指導表をお示ししておきますので、ご利用ください。

以下、新しい指導表での改訂のポイントを列挙いたします。

1) 小学生用と中学・高校生用を分割

現場での指導表利用をより正確にするためには運動種目の呼称と取組みが同一の学年毎に指導表を作成することが望ましいが、あまりにも細分化されると、学年進学の毎に指導表が変更されかねない。そこで、今回は、運動種目の呼称がほぼ一致する中学・高校生用を1枚とし、小学生用を1枚とする。

2) 運動強度の定義を明確化

(1) 軽い運動

ほとんど息がはずまない程度の運動。球技では原則としてフットワークを伴わないもの。等尺運動は軽い運動には含まれない。

(2) 中等度の運動

少し息がはずむが、息苦しくはない程度の運動。パートナーがいれば楽に会話ができ

る程度の運動であり、原則として身体の強い接触を伴わないもの。等尺運動は「強い運動」ほどの力はこめておこなわないもの。

(3) 強い運動

息がはずみ息苦しさを感ずるほどの運動。等尺運動の場合は、動作時に歯を食いしばったり、大きな掛け声を伴ったり、動作中や動作後に顔面の紅潮、呼吸促迫を伴うほどの運動。

3) 運動種目とその取組み方による運動強度の例示
同年齢の平均的児童・生徒にとって前述の各運動強度に属するものと考えられる運動種目とその取組みを一覧表とした。

一覧表に例示されていない体力テストや学校行事も、同年齢の平均的な児童・生徒にとってその活動がどの運動強度に属する程度のものであるかを考慮して各指導区分の児童・生徒の参加の可否を決定できる。

4) 医療区分の廃止

学校生活の運動に関する指導内容は、疾患を問わず新指導表に統一するため、医療区分1、2、3の内容が不明確になるためこれを廃止する。

5) 運動部活動

運動部活動に学校差、個人差が大きいことを考慮すれば、運動の種目のみによって参加の可否を決定できない。また、運動部活動は必ずしも運動選手を目指す参加だけとは限らないので、「E」区分のみに可・禁を限定することもできない。

すべての運動部に制限なく参加できる場合には運動種目や参加内容を規定せず、単に「可」と記載する。

＜新指導表の改訂＞

平成13年度中に可能な限り完成度の高い指導表を作成したいと考えております。本年度中にできるだけ多くの地域で新指導表を試用していただき、問題点をご指摘いただきたいと考えております。

いろいろな障害を持つ児童・生徒のQOLを最大限に発揮させるために皆様方のご協力を期待してやみません。

学 校 生 活 管 理 指 導 表 (中学・高校生用)

平成 年 月 日

氏名 男・女 昭和 年 月 日生 (才) 年 組

中学校
高等学校

医療機関

①診断名(所見名) ②指導区分 ③運動部活動 ④次回受診
要管理：A・B・C・D・E ()部 ()年()か月後
管理不要 可(但し、)・禁 または異常があるとき

医師 印

【指導区分：A…在宅医療・入院が必要 B…登校はできるが運動は不可 C…軽い運動は可 D…中等度の運動も可 E…強い運動も可】

体育活動		運動強度	軽い運動 (C・D・E は “可”)	中等度の運動 (D・E は “可”)	強い運動 (Eのみ “可”)
運 動	体づくり運動	体はぐしの運動 体力を高める運動	いろいろな手軽な運動、リズムカルな運動、基本の運動 (運動遊び)	体の柔らかさ及び巧みな動きを高める運動、力強い動きを高める運動、動きを持続する能力を高める運動	最大限の持久運動、最大限のスピードでの運動、最大筋力での運動
	器械運動	(マット、鉄棒、平均台、跳び箱)	体操運動、簡単なマット運動、バランス運動、簡単な跳躍、回転系の技	簡単な技の練習、ランニングからの支持、ジャンプ、回転系などの技	演技、競技会、連続的な技
	陸上運動	(競走、跳躍、投てき)	立ち幅跳び、負荷の少ない投てき、基本動作、軽いジャンピング	ジョギング、短い助走での跳躍	長距離走、短距離走の競走、競技、タイムレース
	水 泳	(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、横泳ぎ)	水慣れ、浮く、伏し浮き、け伸びなど	ゆっくり泳ぎ	競泳、競技、タイムレース、飛び込み
	種 目	球	バスケットボール	パス、シュート、ドリブル、フェイント	ドリブルシュート、連携プレー (攻撃・防御)
ハンドボール			パス、シュート、ドリブル	フットのドリブルシュート、連携プレー (攻撃・防御)	ゴールキーピング
バレーボール			パス、サーブ、レシーブ、フェイント	スパイク、ブロック、連携プレー (攻撃・防御)	・
サッカー			ドリブル、シュート、リフティング、パス、フェイント、トラッキング、スローイング	ドリブル・ヘディングシュート、ボレーシュート、連携プレー (攻撃・防御)	競技
テニス			グラウンドストローク、サーブ、ロビング、ボレー、サーブ・レシーブ	スマッシュ、力強いサーブ、レシーブ、乱打	タイムレース
技	球	ラグビー	パス、キック、ハンドリング	パス、キック、ハンドリング	簡易ゲーム
		卓球	フォア・バックハンド、サーブ、レシーブ	フォア・バックハンド、サーブ、レシーブ	・
		バドミントン	サーブ、レシーブ、フライト	ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ	・
		ソフトボール	スローイング、キャッチング、バットイング	走塁、連携プレー、ランニングキャッチ	応用練習
		野球	投球、捕球、打撃	走塁、連携プレー、ランニングキャッチ	・
武 道	道	ゴルフ	グリップ、スイング、スタンス	簡易ゴルフ (グランドゴルフなど)	・
		柔道、剣道、(相撲、弓道、なぎなた、レスリング)	礼儀作法、基本動作、受け身、素振り	簡単な技・形の練習	応用練習、試合
		ダンス	即興表現、手振り、ステップ	リズムカルな動きを伴うダンス (ロックやサンバを除く)、日本の民謡の踊りなど	リズムダンス、創作ダンス、ダンス発表会
		現代舞	スキー・スケートの歩行やゆっくりな滑走	スキー・スケートの歩行やゆっくりな滑走	通常の野外活動
		野外活動	雪遊び、氷上遊び 登山、遠泳 水辺活動	平地歩きのハイキング、水に浸かり遊ぶ サーフフィン、ウインドサrfフィン	登山、遠泳、潜水 カヌー、ボート、スクーパー・ダイビング
文 化 的 活 動		体力の必要な長時間の活動を除く文化的活動	右の強い活動を除くほとんどの文化的活動		
学校行事、その他の活動		▼体育祭、運動会、球技大会、スポーツフェスティバルなどは上記の運動強度に準ずる。 ▼指導区分“E”以外の生徒の遠足、林間学校、臨海学校、宿泊学習などへの参加について不明な場合は学校医・主治医と相談する。			

Q & A — 学校保健活性化のための —

Q : 最近、心の健康に関して学習障害 (LD) と注意欠陥／多動性障害 (ADHD) という用語を聞く機会が多くなりましたがどこがちがうのでしょうか

A : 知的な遅れがないのに学校の授業についてゆけないものが出て、その大部分は脳のどこかに僅かな障害があるのではないかと推定し、微細脳症候群 (MBD) と呼んだ時代がありました。この呼称では、障害部位がはっきりせず、多くの疾病・異常が考えられるため、特徴のある症状に沿って病名を表現することになりました。不器用さが目立つものは不器用症候群、動きまわって落ち着かないものは多動症候群、注意力がなくて集中できない障害のあるものには注意集中障害、特異な学習障害を学習能力障害と呼んだのです。当時は自閉症までも原因のはっきりしない (MBD) の範疇に含まれていましたが、これらの疾病・異常は、病態解明が進んで米国精神医学会の診断基準のDSM-IV (1994) によって分類整理されています。その中で学習障害 (LD) と注意欠陥／多動性障害 (ADHD) の病態は下記のように理解されていますが、最近両者の間で相互に症状が重複し共有することがわかってきて、判然と区別するのに躊躇することもあります。どちらも精神の発達にリスクをもつ子どもたちであり、すべてが異常とは言い難いことや、同時に心身の発達過程にある子どもでもあるので、経過をみるのが大切で、識別するに急であってはけません。教育的対応が適切かどうかの判断はさらに難しいと思われるため慎重に取り扱うべきでしょう。

学習障害 (LD) は知的な遅れがないにもかかわらず聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難があると定義されます。したがって就学後に明らかになりやすく、発達性協調運動障害 (不器用) を伴うことも多く、西欧諸国では数%の発症率がいわれ、男児に多いとされます。脳の認知に関連する障害と考えられています。

注意欠陥／多動性障害 (ADHD) の診断は自分の行動をコントロールできる4歳以降に疑うことができ、不注意と多動、衝動性が目立ち、男児に多く、発症率はこれも数%であり、一般にはくせに表現される行動異常を伴うことが多いとされます。自己のコントロール障害と考えられています。

(文責 日本学校保健会 内藤専務理事)



「靴原病」

耳慣れない言葉ですが、文字通り靴が原因の“病気”のことです。外反母趾や、ハンマートゥといった足指の異常が、一般によく知られていますが、それだけではありません。間違った靴を履くことにより、疲労骨折や運動靴皮膚炎、血行不良や不定愁訴等がおこり、健康に害を及ぼすことになります。これが“靴原病”なのです。

1988年の第二回靴医学研究大会 (石塚忠雄会長) にて、アメリカのロッシュ博士が「子どもの足は成長過程にあるので、靴に気をつけないと、様々な障害を誘

足と靴のはなし(1)

発し、一生苦しむような問題につながりかねない」と強調されたように、子どもの靴選びは非常に重要なことなのです。かかとがしっかりと固定して5本の指が動かせる靴が、足の筋力、足指の握力を強くし、立派なアーチを作り、足の健康な成長に欠かせない条件です。

JESシューズは、靴原病予防に有効な、スクールシューズです。



日本教育シューズ協議会
岡山市西川原1丁目11番6-1号
〒703-8258 TEL.(086)272-5463

平成13年度「学校保健用品・図書等推薦一覧表」
推薦期間 平成13年4月1日～平成14年3月31日

No.	品 目	摘 要	会 社 名
1	カワイ肝油ドロップ	保健栄養剤	河合製薬株式会社
2	イソジンうがい薬	口腔内及びのどの殺菌・消毒・洗浄・口臭の除去	明治製菓株式会社
3	アルボース石鹸液	手指の殺菌・消毒・洗浄	株式会社アルボース
4	シャボネット石鹸液	手指の殺菌消毒及び洗浄	サラヤ株式会社
5	コロロ自動うがい器	コップを使わずにウガイできる装置	サラヤ株式会社
6	ヘマコンピスティックス	尿検査用試験紙	三共株式会社
7	ライオンこどもハブラシ	歯刷子 (6～12歳用)	ライオン株式会社
8	ハイライト®	プール用足腰槽用殺菌消毒剤	日産化学工業株式会社
9	日産アクアチェック塩素シリーズ	遊離残留塩素濃度の測定	日産化学工業株式会社
10	バイゲンラックス	プール用水, 飲料水等の殺菌剤	株式会社カズサ
11	ネオクロール・ニュー S	プール用殺菌消毒剤	四国化成工業株式会社
12	ペースサン トップ G	プール用殺菌消毒剤	多木化学株式会社
13	日曹ハイクロン TB-200	プール用殺菌消毒剤	日本曹達株式会社
14	クリーンウエット	消毒用お手拭き紙	株式会社トーヨ
15	応急用酸素吸入器 O ₂ パック	呼吸困難時の応急用	ミドリ安全株式会社
16	パルクリーンカウンター	粉塵の除去 (分煙対策商品)	ミドリ安全株式会社
17	パルクリーンテーブル	粉塵の除去 (分煙対策商品)	ミドリ安全株式会社
18	風速・温湿度計	教室等の気流・温度・湿度の検査器具	日本カノマックス株式会社
19	デジタル粉じん計	教室等の空気清浄度の検査器具	日本カノマックス株式会社
20	JES(呼吸・吸圧)シューズ	上ばき・体育館用・グランド用	JES 日本教育シューズ協議会
21	ボカリスエット及びボカリスエットステビア	水分・電解質補給 (清涼飲料水)	大塚製薬株式会社
22	ホットボー	水分・電解質・ビタミン補給 (粉末清涼飲料)	大塚製薬株式会社
23	マキロン ジェット&スプレー	キズの殺菌・消毒	山之内製薬株式会社
24	かしこく油を選んでヘルシークッキング	肥満・生活習慣病の仕組みや予防方法(料理レシピ付冊子)	(有) 健康と料理社

虎の門 (59)

歩くこと—通勤・通学等における考察—

今や交通機関の発達で、「歩く」ことが少なくなりました。都市では電車、バス、その他新交通システムなどの発達により、家から会社や学校までは交通機関の利用が可能となり、徒歩の時間は、概ね最寄り駅・停留所までとなりました。

一方、地方にいくにしたがって、

自家用自動車の利用が多くなっています。この自動車による通勤により「ドア・ツウ・ドア」となり、歩くことが極端に少なくなりました。「都会ほど歩く時間・距離が長い」といわれる現状がここにあります。

さて、西洋の諺に「牛乳を飲む人よりも、それを配達する人の方

が健康になる」があります。

生涯学習、生涯スポーツが叫ばれている現在、体力維持の面から、また、健康の保持増進からも歩くことの意義を、もう一度見つめ直して、『国民皆歩く運動』なるものを提唱したいと思います。

(編集委員 林 真示)

財団法人日本学校保健会編図書一覧

H13.5.1

	書 名	判・P・定価	内 容	出版社
1	会報「学校保健」 (年 5 回発行)	A4・P8 年間購読料 1,000 円(送料込)	生涯健康で明るく、豊かに生きる子どもの育成を図るため、広く学校保健のさまざまな情報を全国の学校・関係団体等に提供する日本学校保健会の情報紙。	本 会
2	学校保健の動向 (平成 12 年度版)	B5・P248 3,000 円 (送料込)	わが国学校保健の動向を収録し、特集として幼児期の学校保健(保健管理、健康状況、食生活、事故とその防止)を取り上げています。学校保健に携わる人々に、広く活用していただきたい一書です。	本 会
3	養護教諭が行う健康相談活動の進め方 —保健室登校を中心に— (平成 12 年度版)	A4・P88 1,000 円	養護教諭が行う健康相談活動の進め方、保健室登校の意義及び対応、児童生徒理解等、教育現場において今後の実践活動に役立つ指導資料。	本 会
4	養護教諭の特質を生かした保健学習・保健指導の基本と実際 (平成 12 年度版)	A4・P116 1,200 円	養護教諭による保健学習へのかわり、保健の教科の授業を担当する教諭または講師になる制度改正、養護教諭の職務の特質を生かした保健学習・保健指導の授業の進め方、保健学習・保健指導の実際等、健康教育推進のための指導資料。	本 会
5	みんなで生きるために—エイズ教育資料— (平成 12 年度改訂版)	A4・P85 1,000 円	エイズに関する指導の機会及び進め方、指導計画作成上の留意点、指導の展開例等、最近情報に基づいたエイズ教育参考資料。	本 会
6	3・4 年生から始める小学校保健学習のプラン (平成 12 年度版)	A4・P80 1,200 円	新学習指導要領に基づく「小学校保健学習」の考え方や授業の進め方について、Q&A と実践を通じた事例を盛り込んだ絶好の手引き書。各学校で指導に当たる教員や教員養成大学の学生などにも最適の好書。	本 会
7	新しい保健学習のモデル —中学校における課題学習、授業書方式、ライフスキル学習— (平成 11 年度版)	A4・P110 2,000 円	今回は、主題を中学校の保健学習、とくに喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育に設定し、授業における教師の支援法、課題学習、「授業書」による保健授業、ライフスキル学習の進め方について授業実践(モデル)を通して解説した新しい解説書。	本 会
8	ゆたかな身体と心を育むための 「望ましい生活習慣づくり」 (平成 11 年度版)	A4・P134 700 円	将来、健康障害の大きな原因となるであろう「生活習慣」について、子どもたちのそれは日常どうあることが望ましいか等について記述。	本 会
9	学校保健委員会マニュアル (平成 11 年度版)	A4・P64 500 円	「なぜ学校保健委員会が必要か」「こんな会議です」から説きおこし、会議の進め方、運営の実践モデルを掲載、さらに「これから新たに学校保健委員会を開催する場合に必要なノウハウ」までを詳細に解説した学校現場必見の手引き書。	本 会
10	学校における結核管理マニュアル (平成 11 年度版)	A4・P76 700 円	結核が、青少年にとっての恐るべき感染症であることは、今日においても変わらない。本書は、毎年のように「忘れた頃」を狙って発生する集団感染の防止を、国の「結核撲滅宣言」の趣旨を帯びて、新たな視点からその対策を解説したものである。学校保健管理面での活用を切に望みたい。	本 会
11	学校生活におけるアトピー性皮膚炎 Q&A (平成 11 年度版)	A4・P50 700 円	アトピー性皮膚炎についての概念、病因、事例、対策等を Q&A 形式で記述し、アトピー性皮膚炎を持つ児童生徒が教育の過程で不利益を被らないためには、学校内でどのような対策をとる必要があるのか情報提供を目的とした。	本 会
12	学校における水泳プールの保健衛生管理 (平成 11 年度版)	A4 800 円	水泳プールの衛生管理についてのノウハウを分かりやすく解説。	本 会
13	平成 10 年度 児童生徒の健康状態サーベイ ランス事業報告書	A4・P200 2,000 円	児童生徒の健康をめざす諸活動を企画し、実践していくには、まず、その全体像の把握が肝要である。本書は本会独自のサーベイランス方式を通して、貴重な健康情報を集積している。ぜひ、保健活動に携わる諸氏の座右に備えていただきたい一書である。	本 会
14	教師のための心の健康問題の理解と対応	A4・P24 300 円	心の健康問題の見方、とらえ方、かわり方を、子どもの心の発達に則して説明、さらに保護者への対応、校内及び外部関係機関との連携に言及、巻末に Q&A を掲載、見やすいように各課題を見開きページで掲載した。 現場教師のための好個の解説書。	本 会
15	学校において予防すべき伝染病の解説 (学校関係者用) (平成 10 年度版)	A4・P21 400 円	学校で予防すべき伝染病等について、医学的見地かつ教育的見地から指導・助言等を円滑に実施することが出来るように解説したもの。	本 会
16	学校において予防すべき伝染病の解説 (医療関係者用) (平成 10 年度版)	A4・P21 400 円	学校で予防すべき伝染病等について、医学的見地かつ教育的見地から指導・助言等を円滑に実施することが出来るように解説したもの。	本 会
17	新訂 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引(中学校編) (平成 7 年度版)	A4・P120 1,631 円	思春期の生徒の特徴を考え、喫煙・飲酒・薬物乱用について、健康への害を科学的にとらえた指導の手引。	第一法規
18	新訂 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導の手引(小学校編) (平成 9 年度版)	A4・P106 2,100 円	児童の発達段階を考慮しライフスキル教育の手法を採り入れ各教科ごとに展開例を示した指導の手引。	第一法規
19	薬物乱用防止に関する指導 = 指導資料 = (高等学校編) (平成 9 年度版)	A4・P80 1,260 円	薬物乱用防止に関する指導の展開例など、基礎的情報や資料を豊富に提示した指導資料。	第一法規
20	薬物乱用防止に関する指導 = 指導資料 = (中学校編) (平成 9 年度版)	A4・P80 1,260 円	薬物乱用防止に関する指導の展開例や指導方法などわかりやすく解説した指導資料。	第一法規
21	児童生徒の健康診断マニュアル (平成 8 年度版)	A4・P120 2,039 円	学校保健施行規則の一部改正に伴い、健康診断の実施、健康相談の活動を円滑に行うためのマニュアル	第一法規
22	健康的で快適な学校環境を目指して (平成 10 年度版)	B5・P236 2,835 円	「学校環境衛生の基準」について解説するとともに、その基本的な進め方を中心にした解説書。	第一法規
23	改訂版 保健主事の手引 (平成 11 年度版)	A4・P132 1,680 円	保健主事が積極的に、その役割を果たせるよう、保健主事の職務について整理し体系化した手引。	ぎょうせい
24	学校における糖尿病の管理指導 —小児糖尿病の手引— (昭和 61 年度版)	A5・P113 1,100 円	学校現場において、糖尿病に対して行う適切な指導と助言の平易な手引き書	予防医学 中 央 会
25	改訂 学校検尿のすべて (平成 2 年度版)	B5・P140 1,300 円	集団検尿の実際、検診、管理と治療等を具体的に解説。	予防医学 中 央 会

日本学校保健会は、学校保健に係わる多くの課題を委員会で協議・研究し、具体的な方策と資料を学校現場に提供する使命を担っています。

学校保健の充実のため、これらの出版物を活用していただければ幸いです。

財団法人日本学校保健会しおり一覧

H13.5.1

	し お り 名	判・P・定価	内 容	出版社
1	心因性視覚障害 Q&A (平成 12 年度版)	A4・P10 150 円	心因性視覚障害について、概念、病因、事例、治療等を Q&A 方式で解説。学校医や養護教諭をはじめ、学校保健関係者に有益な小冊子。	本 会
2	児童生徒の眼の健康のしおり (平成 9 年度出版)	A4・P12 150 円	視力の知識等を適切にまとめたしおり。視力に関する指導等で役立ちます。	本 会
3	生きる力をはぐくむ 「歯・口の健康づくり」 (平成 12 年度版)	A4・P22 200 円	各学校で特色ある活動を推進し、子どもたちに「生きる力」をはぐくむための「総合的な学習の時間」を充実する観点から、歯・口の健康づくりの新たな展開のプラン（小、中学校）を示した資料。教員及び学校歯科医にお勧め。	本 会
4	歯・口の健康づくりをめざして II —健康診断と保健指導の進め方— (平成 10 年度出版)	A4・P20 50 円	これからの学校歯科保健の推進にとって重要な課題を具体的に Q&A の形式で、指導計画例、実践例も豊富に。	本 会
5	歯・口の健康と食べる機能 (平成 10 年度出版)	A4・P18 150 円	口腔機能のうち「食べる機能」を取り上げ、歯・口の健康づくりとの関連を重視して解説した手引。	本 会
6	歯周疾患予防のしおり (平成 5 年度出版)	B5・P12 60 円	歯を支える仕組み、歯周疾患の原因とその予防、小学校・中学校・高校における指導方法を具体的に写真入りで紹介。	本 会
7	子どもの心因性難聴 Q&A 平成 11 年度版 (平成 11 年度版)	A4・P10 150 円	学校保健の立場での心因性難聴への対応をいかにすべきか、Q&A 方式で解説した冊子。	本 会
8	骨の健康づくり (平成 9 年度出版)	A4・P18 100 円	骨の健康づくりのための基本的な知識理解及び食事や運動など毎日の生活についての学校における指導の在り方やその内容について解説。	本 会
9	生活習慣からみた児童生徒の健康づくりの ポイント (平成 11 年度出版)	B5・P20 65 円	気をつけましょう（肥満、やせ、高血圧、高脂血症、動脈硬化、糖尿病の病理学的因子）食生活のみだれ、健康づくりのための望ましい食生活・栄養ワンポイント・運動・睡眠・ダイエットの注意等。	予防医学 中 央 会
10	腎疾患児 管理指導のしおり(学校・学校医用) (平成 4 年度出版)	B5・P12 55 円	尿異常の子どもをどう受け止めるか、暫定診断の目的、腎臓病管理指導表の見方、腎臓病管理指導及び管理区分の目安、管理の実施。	予防医学 中 央 会
11	尿糖検査と糖尿病児 管理指導のしおり(学校・学校医用) (平成 4 年度出版)	B5・P12 60 円	尿糖検査をどのようにすすめるか、糖尿病とは？（診断法・2つの病型）、学校での管理・指導の実際、糖尿病管理指導表等。	予防医学 中 央 会
12	心疾患児 管理指導のしおり(学校・学校医用) (平成 10 年度出版)	B5・P12 55 円	E一可と E一禁句分決定の目安、心電図心室肥大判定基準、学校現場のスクリーニングのオーバーリードに、心臓病管理指導表と活用、不整脈の管理基準等。	予防医学 中 央 会
13	自動解析装置を用いた 学校心臓検診の手引 (平成 7 年度出版)	A4・P2 60 円	定期健康診断で心電図検査が義務化された心臓検診に自動解析装置やデータを網羅した検診の手引。	中 央 会
14	第 2 版 心臓手帳 (平成 8 年度版)	B6・P64 350 円	心臓病の症状を正しく理解し、それに応じた生活の仕方、主治医・家庭・学校との連絡に。	予防医学 中 央 会
15	第 2 版 腎臓手帳 (平成 8 年度版)	B6・P64 *350 円	腎疾患の早期発見と早期治療、正しい管理指導の手帳として活用できる。	予防医学 中 央 会
16	糖尿病手帳 (昭和 60 年度版)	B6・P62 250 円	尿糖検査をどのように進めたらよいか、糖尿病とはどんな病気か、学校でどう指導すればよいか、などについて正しい知識の普及を図る。	予防医学 中 央 会
17	知識と勇気～ストップ・ザ・ドラッグ (小・中・高校生向けの 3 種類)	B5・P20 各 150 円	薬物の有害性・危険性をコマ割りマンガや Q & A、大きなイラスト等で分かりやすく解説した小冊子。	東京法令

* 図書・しおりの申込は郵送及び FAX で受け付けています。平成 13 年 9 月よりホームページ、e メールでも受け付け予定。

* 価格・割引・送料・消費税等について

・ 本会扱い図書合計購入価格（「学校保健の動向」（平成 12 年度版）を除く）

5,000 円未満 価格+送料
5,000 円以上 10,000 円未満 価格の 5%引き（送料無料）
10,000 円以上 価格の 10%引き（送料無料）

・ 学校保健の動向（平成 12 年度版）

1～4 冊→価格×冊数（送料込み）
5～9 冊→価格×冊数の 5%引き（送料込み）
10 冊以上→価格×冊数の 10%引き（送料込み）

・ 本会及び各出版社の図書の混合注文は、それぞれ別途発送・別途支払になります。また、割引等については各出版社にお問い合わせください。

・ 本会出版物→消費税なし

財団法人 日本学校保健会

〒 105-0001 東京都港区虎ノ門 2-3-17 虎の門 2 丁目タワー 6 階

電 話 03(3501)3785

F A X 03-3592-3898

購入者の方で、指定の請求書等が必要な場合は、購入申し込み書と共にご郵送下さい。

カワイ肝油ドロップ

発育期に欠かせないビタミンが凝縮されたカワイ肝油ドロップは、「わんぱく」を応援します。



ビタミンA・D+ビタミンC



ビタミンA・D+カルシウム



製造 河合製薬株式会社 販売 河合製薬株式会社
東京都中野区中野6-3-5 ☎03-3365-1156(代)



学童の集団検尿に、 エームス尿検査試験紙。

エームス尿検査試験紙

ネフロスティックス®-L

体外診断用医薬品

バイエル メディカル株式会社
東京都渋谷区恵比寿1丁目19番15号
販売元:

三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号

JU2099-S

目にやさしい、手間いらずの安心管理 プール用殺菌・消毒剤 **ネオクロール**

特長

1. 持続性タイプと速効性タイプの2種類の消毒剤があります。
2. 速効性タイプのネオクロール・ニュー・S、ネオクロール・T-20Sは
プールへ直接投入しても脱色のおそれはほとんどありません。
3. 包装単位も小さく、持ち運びが容易です。



四国化成工業株式会社

東京 03-5640-4113 大阪 06-6282-1441

様々なプール環境に対応する



多才な商品をご用意しています

からだに必要な 水分とイオンの補給に

(財)日本学校保健会推薦



ポカリスエット

商品に関するお問合せは
大塚製薬株式会社 03-3292-0021
ホームページ <http://www.otsuka.co.jp/>

「ポカリスエット」
無料進呈いたします

抽選で10校様へ商品3ケースを無料
進呈致します。学校名、住所、TEL、
ご担当者名を記入の上、官製ハガキも
しくはFAXにて下記「健康と料理社」
へお申込下さい

お問合せ：健康と料理社 東京都千代田区九段南 4-7-19 TEL03-5275-6838 / 担当 河西